

茨城県北部の観光スポット、竜神峡に架かる竜神大吊橋のライトアップ照明が、2024年春、フルカラーLED演出照明システムに全面リニューアルされました。静寂な自然の中に凜としてそびえ立つ2本の主塔が、季節と地域色をテーマに刻々と変化する和色の光に包まれ、夜の竜神峡に新たな表情を生み出しています。

茨城県北部に広がる奥久慈県立自然公園内に渓谷を刻む竜神峡。その下流部のダム湖を跨ぐように1994年に架けられた竜神大吊橋は、当時日本一長い歩行者専用橋として開通し、以来地域の観光資源となっています。美しい自然の景観のほか、鯉のぼりまつりなど定期的に催される季節のイベントやバンジージャンプなどもあり、国内外から多くの人々が訪れる観光スポットとなっています。



【物件概要】  
所在地：茨城県常陸太田市天下野町2133-6  
形式：単径間2ヒンジ補剛トラス吊橋  
橋長：446m (中央支間375m)  
主塔高：35m  
幅員：3m  
発注者：(一社)常陸太田市観光物産協会  
照明設計：(株)stu  
リニューアル完成：2024年4月  
【点灯実施日程】  
毎週土曜日、日没後から20時まで  
※他、特別点灯など変更のある場合は、常陸太田市観光物産協会のWebサイトにて告知します。

Webサイトはこちら



木精の鐘(カリヨン)側から駐車場側を望む フルカラーLED演出照明によりプログラム「卯月」のテーマである桜の春色に染められた主塔。カラーは少しずつゆっくりと変化し、常陸太田市の花である山吹の黄色に変化していく。

月ごとに異なるテーマで設定した12パターンの和色プログラムにより、高さ35mの主塔を艶やかにライトアップ。

1994年に当時日本一の長さの歩行者専用吊橋として造られた竜神大吊橋は、中央支間375m、主塔高さ約35mのスケールを誇り、主塔の特徴的な形状は竜神峡の名にちなんで「竜」をイメージさせるデザインとなっています。ライトアップは開通時より1kWクラスの投光器(水銀ランプ器具)8灯により橋全体を照らしていました。

今回、周辺地域全体の観光資源整備の一環として、海外からも含めた観光客をより多く誘引し、より長く滞留していただけるように、夜も楽しめる観光スポットとして、ライトアップ照明器具をフルカラーLED演出照明シ

ステムに全面的にリニューアルしました。  
ライトアップは兩岸の主塔足元に設置した計24台のフルカラーLED器具により実施。日本の四季折々の表情を月単位でテーマ設定し、穏やかにかつ刻々と変化するライトアッププログラムにより演出。月ごとの点灯パターンにはそれぞれの和風月名が付けられ、それぞれに日本の伝統色をメインにしたフルカラー演出に仕上げられています。また、基本パターン以外にも単色やレインボーなどを用意し、イベントに合わせたパターン変更にもフレキシブルに対応できるようにしています。



主塔を全方向から照らす ColorBlast IntelliHue Powercore gen4。架台は現地での調整がしやすいよう設計。

主な掲載器具一覧	設置場所	器具名 (品種名)	形名	台数	備考
	外装壁面	フルカラー LED 演出照明 ColorBlast IntelliHue Powercore gen4	BLP-HUE-WH-01	24	消費電力:50W



1月の演出[睦月] 2月の演出[如月] 3月の演出[弥生] 4月の演出[卯月]



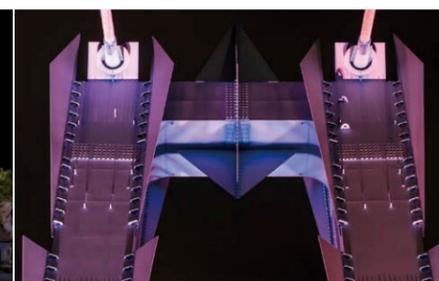
5月の演出[皀月] 6月の演出[水無月] 7月の演出[文月] 8月の演出[葉月]



9月の演出[長月] 10月の演出[神無月] 11月の演出[霜月] 12月の演出[師走]



駐車場側主塔下から見た対岸主塔  
ライトアップされた美しい塔体側面。



主塔最上部の照明風景  
梁部に当たる光の陰影にも配慮。